

11月4日

テーマ：「エマオの途上で」

聖書箇所：ルカの福音書24章13節～35節

◆今日のみことば

そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」ルカの福音書24章32節

◆メッセージ

イエスさまを信じて、教会にも通っているのに、どうしてこんなことになるんだろう、とガッカリしたことはありますか？

このふたりの弟子は、自分たちが信じていたイエスさまが死んでしまったことに大きなショックを受けて、悲しみに沈んでいました。イエスさまは、これから僕たちのためにこんなことを、あんなことをしてくださるはずだったんじゃないのか、それなのに死んでしまった、と…そして、彼らは自分たちがいるべき場所（エルサレム）から離れて、間違った方向へ進んでいる途中でした。すると！

イエスさまの方から彼らに近づき話しかけられました。でも、ふたりは自分たちの失望、悲しみにばかり心を奪われて、そばにいるイエスさまがわからなかったのです。

このふたりの弟子の問題は「イエスさまはこうしてくださるはずだった」と、自分の期待や願いを叶えてくれるイエスさま像を持っていたことです。それが叶わなくなったと思うと、信仰の友がいる場所から離れて行きました。そして近くに来てくださったイエスさまにさえ気づかなかったのです。

僕たち/私たちも、自分勝手なイエスさまのイメージを思い描いて、そうならないとガッカリし「祈ったのに、教会にも行っているのに、自分が思ったとおりにイエスさまはしてくれなかった。」と言って、イエスさまや教会から離れてしまうことがないようにしましょう。

自分の思い描くイエスさま像ではなく、聖書が語っている、聖書に描かれているイエスさまをしっかり、正しく見つめることが何よりも大切です。このイエスさまを信じる時、ふたりの弟子たちと同じように「私たちの心はうちに燃えていたではないか」と、立ち上がって自分のあるべき場所、進むべき場所へ向かうことができるのです。

◆お祈り

「毎日聖書を読み、教会学校でのお話を聞き、おとなの人たちと一緒にささげる共同の礼拝にも出席して、もっとイエスさまのことを正しく知ることができるように助けてください。」



(豊橋ホサナキリスト教会牧師 加藤一也)